慶應義塾医学部新聞

発行所
三四会医学部新聞編集室
〒160－8582
東京都新宿区信濃町35
電話(3353)1211 内線64056
会員については会費に購読料が含まれる
発行人　米坪　喜一
毎月　1回20日発行

# 各教室教育関係者が多数参加
## 医学教育プログラムへの活用が期待

信濃町キャンパス第二校舎二階に練設されたOyna Medical Schoolが始動し、その開所式が八月二十二日、北島医学部長関係者約数名、慶応義塾大学病院長、小川久弥名誉教授（前49回）、末松誠教育委員会（医化62回）からそれぞれ挨拶があった。また、天野教育統括センター長よりOyna Medical Schoolの説明がされた。その後、東校舎に場所を移して、Oyna Medical School の学生がわれた。

（全面に関連記事）

信濃町キャンパス第二校舎二階に練設されているOyna Medical School が始動した後の第二校舎二階に整備されている。この他、女子学生ラウンジ、教職員用の部屋も整備されている。Oyna Medical School は今後導入されるProgram based learning（PBL）を実践するための施設であり、また、少人数教育を行う目的で練設されており、今後の活用が期待される。

Oyna Medical School の開所式には関係者に加え、医学部教育委員会委員長の話、医学部教育部長の話、また、当日はOyna Medical School のコンピューターを利用したWorkshopがおこなわれ、参加者も熱心な様子であった。

開所式に引き続き第二医学教育ワークショップが行われ、教育プログラムのデモ（Oyna Medical School）も実施された。

北島医学部長の話　この度、文部科学省も積極的に推進している二十一世紀における医学教育の改善方策においての教育技法の一つである問題基盤型学習（PBL：Problem-based learning）を可能とする施設を第二校舎の二階に完成させました。この施設はPBLなど最新の医学教育に対応出来るものであり、なおインターネットによる医学情報の収集、学習、教育、研究、診療の場として、また、教育プログラムの作成、実践、評価の場として、医学教育の改善方策における